

第七十六回帝國議會
衆議院

治安維持法改正法律案委員會會議錄(速記第七回)

付託議案
治安維持法改正法律案(政府提出)
(第六二號)

會議

昭和十六年二月十八日(火曜日)午後二時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 服部 英明君
理事泉 國三郎君 理事眞鍋 勝君
理事世耕 弘一君

江原 三郎君 小畑虎之助君
中野 寅吉君 中村 高一君
藤本 拾助君 濱野徹太郎君
一松 定吉君 藤田 若水君
猪野毛利榮君 三田村武夫君

出席政府委員左ノ如シ

內務事務官 村田 五郎君
司法省刑務局長 秋山 要君
司法省行刑局長 金澤 次郎君
司法書記官 大竹武七郎君
司法書記官 太田 耐造君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

治安維持法改正法律案(政府提出)

○服部委員長 是ヨリ開會致シマス——

小畑君

○小畑委員 昨日ドノ程度マデヤツタカト云フコトヲ一寸ウツカリシテ覺エテ居ラスデスガ、重複シテ居ル點ガアツタラ御注意ヲ願ヒマス、此ノ治安維持法案ニアル所ノ刑事手續ト國防保安法案ニ規定サレタ刑事手續トハ、殆ド其ノ規定ハ同ジコトデアアルノデアリマス、僅カニ二三異ツタ點ガゴザイマスガ、是ハ恐ラク其ノ兩法案ノ性質カラ來ル所ノ相違デアルト思フノデアリマシテ、

大體ニ於キマシテハ同ジ手續規定ニナツテ居ル、然ルニ國防保安法ノ規定ニ依リマスルト、特殊ノ場合ニ限リ治安維持法ノ罪ニ對シテモ、國防保安法ノ刑事手續ノ規定ヲ適用スル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、特殊ナ場合トハ即チ外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ治安維持法ノ罪ヲ犯シタル場合ニ於テハ、國防保安法ノ特殊ナル刑事手續ニ依ル、斯ウ云フ規定ガアルノデアリマス、然ルニ其ノ規定ト略、同様ナル規定ガ、此ノ治安維持法ニモ定メラレテ居ルノデアリマス、左様ニ致シマスルト、此ノ國防保安法ノ法案ヲ起草セラレマシタ時期ニ於キマシテハ、治安維持法案ヲ今期議會ニ御提出ニナルト云フコトハ、關聯シテ御考ヘニナツテ居ラナカツタノデハナイカト思フノデアリマス、若シニツノ法案ガ成立スルト致シマスルナラバ、國防保安法ノ第十六條ノ第二項中カラ、治安維持法ト云フ文字ヲ削除シテ宜シイノデハナイカト思フ、斯ウ云フコトヲ昨日質問ヲ致シタヤウニ思フノデアリマス、然ルニ司法當局ノ御答辯ニ依リマス、治安維持法ノ刑事手續ト、ソレカラ、國防保安法ノ刑事手續トハ必ズシモ其ノ規定ハ同一デハナイ、變ツタ所ガアルカラ特ニ兩法案ニ此ノ規定ガ必要デアル、斯ウ云フ御答辯デアツタヤウニ思フノデアリマス、然ラバ茲デ兩法案ノ刑事手續ヲ比較ヲ致シテ見ナケレバナラスト云フコトニナルノデアリマスガ、簡單デアリマスカラ、私は是ガ比較ラシテ、此

ノ兩法案ヲ特ニ規定スル所ノ必要ガ何處ニアルカト云フ點ニ付テ、モウ一應伺ツテ置キタイト思フノデアリマス、即チ此ノ國防保安法ニ規定サレテアル刑事手續ニシテ、治安維持法ニ規定サレテナイ所ノ條文ハドレトドレデアルカ、極メテ僅カデアリマス、第二十八條ノ外國船舶又ハ外國航空機法律又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ依ル禁止又ハ制限ニ違反シ云々、此ノ規定ガ治安維持法ニハナイノデアリマスルガ、是ハ主トシテ防諜關係ヲ狙ツテ居リマスル所ノ國防保安法ノ特殊性カラ來タ所ノ規定デアリマシテ、當然斯ノ如キ規定ハアリマシテモ、治安維持法ノ罪ニ關シテハ實際適用セラレルコトハナイト私ハ思フノデアリマス、ソレカラ第三十一條ノ辯護人ハ審判ヲ公開シタル公判廷ニ於テ口頭辯論ヲ爲ス場合ニハ國家機密、軍事上ノ秘密等々ヲ陳述スルコトヲ得ズ、此ノ規定デアリマスガ、是ハ治安維持法ニハナイノデアリマスケレドモ、此ノ規定ハ刑事手續ノ章ニ規定セラレテアリマスルガ、本質ハ手續法ニアラズシテ、實體法デアル、此處ニ此ノ規定ガアリマスル以上ハ、假令民事ノ裁判ニ於キマシテデモ、又治安維持法ノ罪ニ關スル公判廷ニ於キマシテデモ、如何ナル法廷ニ於テモ辯護人ハ是等ノ國家機密ヲ公開シタリ陳述スルコトハ出來ナイ、若シ其ノ陳述ヲ爲スナラバ、當該法律ニ依ツテ處斷セラレルト云フコトノ結果ニナル、是ハ手續規定ノ中ニ混ツテ居リマスケレドモ、一ツノ禁止規定デアツテ、

刑罰實體法規デアルト私ハ思フノデアリマス、是ガ爲ニ此ノ規定ガ國防保安法ニアツテ治安維持法ニ缺如シテ居ルノ故ヲ以テ、刑事手續ハ必ズシモ同一デナイト論ズルノ理由ニハナラスト思フノデアリマス、ソレカラ其ノ次ハ第三十三條ノ三項デアリマス、「上告ハ刑事訴訟ノ法第四百十六條ノ規定ニ依ルノ外、同法ニ於テ第二審ノ判決ニ對シ、上告ヲナスコトヲ得ル理由アル場合ニ於テノミ、上告ヲナスコトガ出來ル」斯ウ云フ規定デアリマスガ、此ノ中デ「刑事訴訟法第四百十六條ノ規定ニ依ルノ外」ト云フ文字ガ、治安維持法ノ刑事手續ノ條文ノ中ニハ抜ケテ居ルノデアリマス、此ノコトニ付テハ別ニ後デ伺ツテ見タイト思フノデアリマスガ、簡單ニ結論ヲ言ヒマス、私ハ治安維持法ニ於テ、刑事訴訟法第四百十六條ノ規定ニ依ルノ場合ニ於キマシテ、何故ニ上告ヲナスルコトガ出來ナイカ、國防保安法ノ罪ハ極メテ重大デアリマスガ、此ノ重大ナル犯罪ヲ犯シタ者ハ、刑事訴訟法第四百十六條ノ規定ニ依ツテ、第一審ノ裁判ニ對シテ直チニ直接上告ヲナスコトガ出來ルケレドモ、治安維持法ニ關スル罪ハ、四百十六條ニ依ツテ上告ヲナスコトガ出來スト、區別セラルル理由ノ解釋ニ私ハ苦シムノデアリマス、此ノ點ハ後デ申上ゲマス、ソレカラ第三十六條、ソレカラ第三十七條デアリマスガ、是等ノ規定ヲ若シ必要デアルトスルナラバ、治安維持法ニ於キマシテモ、同様必要デアルト思フノデアリマス、不必要デアルトスレ

バ、同様不必要デアルト斯様ニ思フノデア
リマス、此ノ規定ヲ特ニ國防保安法ニ規定
シテ、サウシテ治安維持法ニハ規定シテ居
ナイト云フ理由、此ノ兩者ヲ區別シテ所ノ
理由ガ私ニハ分ラヌノデアリマス、今私ガ
調べマシタ所ニ依リマシテ、治安維持法ノ
條文ニナクシテ、國防保安法ノ條文ノ中
ニアルト云フノハ、如何ナル理由カラサウ
ナツテ居ルノデアリマスカ、ソレカラ治安
維持法ノ條文ニアツテ、國防保安法ノ條文
ニナイモノハ、治安維持法第三十二條デア
リマス、是ハ長クナリマスカラ説明ヲ控ヘ
マスガ、是等モ兩者ノ間ノ區別ヲスル必要
ノナイ規定デアルト思フ、ソレカラ第三十
三條ノ第四項デアリマス、「上告裁判所ハ第
二審ノ判決ニ對スル上告事件ニ關スル手續
ニ依リ裁判ヲ爲スベシ」是ハ治安維持法ニ
アツテ國防保安法ニハナイノデアリマスガ、
何故ニ治安維持法ニ於テ、第二審ノ判決ニ
對スル上告事件ニ關スル手續ニ依ツテ、裁
判ヲシナケレバナラスカ、國防保安法ニ於
テハ、此ノ手續ニ依ルヲ要セズト云フ理由
ノ發見ニ、私ハ苦シムノデアリマス、サウ
云フ風ニ致シテ居リマス點ハ、以上ニ述ベ
マシタ通りデアアル、後ハ少シモ違ハナイ、
斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、之ヲ
特ニ一般ノ罪ハ治安維持法ニ依リ、ソレカ
ラ外國ト通謀シ、又ハ外國ニ利益ヲ與フル
目的ヲ以テ犯サレタル治安維持法ノ罪ハ、國
防保安法ニ依ルト、斯ウ云フ風ニ區別シナ
ケレバナラナカッタ所ノ理由ヲ、伺ヒタイ
ノデアリマス

○秋山政府委員 御尋ネノ點ハ大體御尤モ
ナ御尋ネダト思ツテ居リマス、特ニ外國ト通
謀シタ治安維持法ノ罪ヲ國防保安法ノ方ニ

入レマシタ理由ニ付キマシテハ、前ニモ申
上ゲマシタガ、尙ホ一ツ詳細ニ御説明ヲ申
上ゲマス、國防保安法案ニ定メラレテアリ
マス刑事手續ハ、外國ノ行フ祕密戰、即チ
諜報宣傳デアルトカ謀略トカ云フモノニ對
應致シマシテ、統一ニ又強力ナ搜查手續ト、
迅速適正ナ審判手續ニ依リマシテ、之ヲ一
舉ニ破砕シヨウト云フコトヲ目的トシテ、
立案セラレタモノデアリマスノデ、此ノ法
案ニ依ツテ新設セラレマシタ罪ニ止マラ
ズ、既ニアリマス罰則中、外國ノ諜報、宣
傳、謀略トシテ行ハレルヤウナ可能性ノア
ル凡ユル罪ヲ網羅シテ、是等ノ總テフ罪ニ
此ノ刑事手續ノ適用ガ、出來ルノダト云フ
コトニ致シタノデアリマス、治安維持法ノ罪
ハ「コミンテルン」又ハ中國共產黨ナドノ外
國ト通謀シ、又ハ是等ニ利益ヲ與フル目的
ヲ以テ行ハレル思想謀略トシマシテ、最モ
恐ルベキ場合ガ多イコトハ申スマデモナイ
ノデアリマス、隨ヒマシテ斯様ナ思想謀略
ニ對應スル必要上、國防保安法第十六條ノ
第二項ニ、治安維持法ノ罪ヲ規定シタノデ
アリマシテ、斯様ニ一個ノ法律ニ此ノ種ノ
モノヲ纏メテ、規定スルト云フコトガ必要
デアルト云フ所ニ、重點ガアルノデアリマ
ス、此ノ國防保安法ノ第三十八條ニ、刑事
手續ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外ハ、
一般ノ規定ニ依ルトアリマシテ、二ツノ法
案ガ成立致シマスレバ、外國ト通謀シ又ハ
外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ犯サレタ、
治安維持法ノ罪ニ付キマシテハ、只今御尋
ネノヤウニ國防保安法所定ノ刑事手續ガ、
先ヅ特別法トシテ優先的ニ適用セラレル、
治安維持法所定ノ刑事手續ハ、刑事訴訟法
ト一緒ニ、補充的ニ適用ニナル、斯ウ云フ

風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、兩法案ノ刑
事手續ニ相違ノ點ノアリマスコトハ、只今
御話ノ通りデアリマス、唯國防保安法中御
指摘ニナツタ點デ、訂正ニナツテ居ル所ガ
アリマス、三十三條ノ上告ノ點ナドハ、只
今御話ノ部分ハ訂正前ノ所デアリマスガ、
其ノ後訂正ニナツテ居リマシテ、是ハ治安
維持法ト同ジヤウニナツテ居リマス、兩者
ノ刑事手續ニ多少ノ違ヒモアリマスガ、是
ハ搜查スル上ニ於キマシテ、又審判スル上
ニ於キマシテ、全然實益ガナイト云フ譯デ
ハナイノデアリマス、併シナガラ運用ノ上
ニ於キマシテハ、國防保安法ノ第十六條等
ニ治安維持法違反ノ罪ヲ掲ゲテ置キマスコ
トハ、多少蛇足ノ感ハアル、是ハ御話ノ通
リデアリマス、唯多少觀念的ニナルカモ知
ラント思ヒマスケレドモ、只今申上ゲマシ
タヤウナ必要カラ、ソレヲ分ケテ居ルノデ
アリマス、此ノ國防保安法ハ御承知ノヤウ
ニ、目下貴族院ニ於テ審議中デアリマスガ、
兩法案ノ成立致シマシタ上ハ、是ハ國防保
安法ノ方ハ入レテアルカラ、非常ニ實益ガ
アルト云フコトヲ申サレナイカト思ヒマス、
此ノ點ハ御話ノ通りデアリマス

○小畑委員 三十三條ノ四項デアリマシタ
カ、ソレデハ此ノ兩法案ガ同ジヤウニ訂正
サレタノデアリマスカ

○秋山政府委員 サウデアリマス

○小畑委員 同ジヤウニ訂正サレテ居リマ
シタラ尙更ノコトデアツテ、兩者ガ一致ス
ル譯デアリマスガ、觀念上カラ申シマシテ、
ドウシテ第十六條第二項ニ之ヲ入レナケレ
バナラナカッタカト云フ御話ハ分リマスガ、
實際問題ト致シマシテハ、此ノ兩法案ノ規
定ヲ異ニシテ居リマス點ニ付キマシテハ、

ソレダケノコトデアリマシタナラバ、此ノ
龐大ナル條文ヲ御作リニナツテ、ドチラニ
モ同ジコトヲ掲ゲルト云フ必要ハナカッタ
ト思ヒマス、是ハ一般ノ刑事訴訟法ヲ改正
シヨウト云フ御考ヘガアツテ、本當ノ司法
省ノ考ヘト致シマシテハ、總テノ事犯ニ對
スル刑事手續ヲ變ヘテ行キタイ、即チ刑事
訴訟法ヲ改正ヲシタイト云フ考ヘガアツテ、
其ノ御考ヘガ司法省カラ出テ參リマスル國
防保安法ニ致シマシテモ、治安維持法ニ致
シマシテモ、悉クニ是ガ現ハレテ來タ結果
デアナイカト私ハ考ヘタノデ伺ツタ次第デ
アリマス、只今實際ノ問題トシテハ兩方ヲ
分ケテ規定ヲシテモ、是ハ別ニ實益ガアル
譯デナイ、唯觀念上國防保安法ノ第十六條
ニモ之ヲ入レナケレバナラナカッタト云フ結
論ノヤウニ伺ヒマシタカラ、是ハ此ノ程度
ニ承ツテ置クコトニシタイト思ヒマス、ソ
レカラモウ一點ダケ伺ヒタイノデアリマス
ガ、附則第二項ノ「第一章ノ改正規定ハ本法
施行前從前ノ規定ニ定メタル罪ヲ犯シタル
者ニ亦之ヲ適用ス」斯ウ云フコトニナツテ
居ルノデアリマスガ、只今ノ御答辯ニ依リ
マス、本法施行前ニ犯シタル所ノ罪ニ對
シテモ、刑事手續ハ、國防保安法ノ第十六
條第二項ニ關スル限り、之ニ依ラナケレバ
ナラスト云フ趣旨ヲ含メテ居ルヤウナ御答
辯ノヤウデゴザイマスガ、刑事手續ハ其ノ
犯罪後ニ改正セラレタ場合ト雖モ、其ノ審
判スル時、搜查スル時ノ刑事手續ニ依ルコ
トガ原則デアルト吾々ハ考ヘテ居リマス、
ソコヘ持ツテ參リマシテ此ノ附則ガアルノ
デアリマス、第一章ノ改正規定ハ是ハ實體
規定デアリマスガ、是ハ本法施行前ニ從前
ノ規定ニ定メタル罪、即チ是ハ現行法ノコ

トヲ指サスノデアラウト思ヒマス、此ノ現
行法ノ罪ヲ犯シタル者ニ適用スル、斯ウ云
フコトニナツテ居リマスガ、是ハ所謂過去
ニ遡及スルモノデアルト思フノデアリマス、
其ノ議論ハ姑ク措キマシテ、輕キニ從ツテ
處斷スルト云フコトニナツテ居リマシテ、
即チ「但シ改正規定ニ定ムル刑ガ從前ノ規
定ニ定メタル刑ヨリ重キトキハ從前ノ規定
ニ定メタル刑ニ依リ處斷ス」斯ウ云フノデ
アツテ、新法ヲ適用スルケレドモ、若シ新
法ノ規定ガ舊法ノ規定ヨリ重カクツタ時ニハ、
舊法ノ規定ニ依ツテ刑ヲ定メルト云フノデ
アツテ、是ハ刑法第六條ノ規定ト同ジヤウ
ナコトデアルト思フノデアリマスガ、本法
改正ノ趣旨ヲ承リマスルト、罰則ノ強化ト
云フコトガ、改正ヲ必要トスル所ノ一ツノ
理由ニナツテ居ルヤウデアリマス、即チ從
前ノ法規ヨリハ改正法規ノ方ガ刑ハ重イ、
斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、
見マシタ所、現行法ヨリハ今度ノ改正法規
ノ方ガ、刑ガ輕イト云フ場合ガナイヤウニ
思フノデアリマス、又立法ノ趣旨ガ罰則ノ
強化ト云フ所ニアルノデアルト致シマシタ
ナラバ、ドウモ此ノ規定ハ諒解スルニ苦シ
ムノデアリマス、此ノ點ヲ一寸御答へ願ヒ
タイ

○太田政府委員 御答へ致シマス、此ノ附
則ノ第二項ハ、刑法第六條ニ對シマスル例
外ヲ認メタ場合デゴザイマス、刑法第六條
ニ依リマス、「犯罪後ノ法律ニ因リ刑ノ變
更アリタルトキハ其輕キモノヲ適用ス」ト云
フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、併シ
實體規定ノ適用ハ、其ノ判決ヲナス際ニ現
行シテ居ル罰則ヲ適用スルノガ、是ガ原則
デアルベキデアツテ、犯罪ヲナシタ時ノ罰

則ニ依ルベキデハナイト云フコトガ、最近
非常ニ力強ク主張ヲサレテ居ルノデアリマ
ス、刑法ノ改正調査會等ニ於キマシテモ、
左様ナ主張ガ殆ド壓倒的ニ主張サレテ居ル
ノデアリマス、ソコデ本改正案ニ於キマシ
テハ、此ノ附則ノ第二項ニ於キマシテ、原
則トシテ判決時法、即チ改正規定ヲ適用ス
ルト云フ趣旨ヲ明確ナラシメタノデゴザイ
マス、唯實體規定ノ改正ノアツタ場合ニ於
キマシテハ、其ノ改正規定ノ效果ハ遡及シ
テ適用サレナイ、即チ刑法不遡及ノ原則ト
云フモノガ、刑事法規一般ニ付テ行ハレテ
居リマスノデ、改正規定ニ依ツテ刑ガ重ク
ナツタト云フ場合ニ於キマシテ、其ノ重キ
モノヲ以テ處斷スルコトハ被告ニ對シテ極
メテ不利益デアリ、氣ノ毒デアリマスノデ、
豫期セザル重罰ヲ課セラレルコトニ相成リ
マス、ソレハ避ケタイト存ジマス、ソコデ
但書ヲ設ケマシテ、輕キモノヲ以テ處斷ス
ルト云フコトニ致シタ次第デゴザイマス

○小畑委員 御話ハ分リマシタ、即チ第一
ニハ、是ハ刑法ノ時ニ關スル高度ノ革命デ
アツテ、行爲ノ當時其ノ法律ガ存在シナイ
デモ、判決ヲスル當時、即チ刑事手續ヲナ
ス當時其ノ法律ガ存在スレバ、其ノ法律ヲ
適用スルノデアルト云フ是ハ新シイ刑事政
策ノ思想カラ出タコトデアルト承ツタノデ
アリマス、ソレカラ第二ニハ、ソレニ對シ
テヤハリ新舊ノ實體規定ガ變更サレタ場合
ニ於テハ、輕キ刑ニ依ツテ處斷スルト云フ
コトニシナケレバナラスカラ、此ノ但書ヲ
付ケタノデアル、是ハ能ク分リマス、併シ實際
問題ト致シマシテハ現行法トソレカラ此ノ
新法案トヲ比較致シマスルニ、從前ノ規定
ノ方ガ重イト云フ場合ガナイト思フノデア

リマス、實際問題トシテハ是ハ問題ニナラ
ス、斯ウ云フヤウニ思ヒマスガ、後デ御意
見ガアリマスレバ御答辯ヲ願ヒタイ、ソレ
カラ昨日カラ私ガ色々質問ヲ重ネマシテ諒
解ヲ致シタ點モアリ、諒解シ難キ點モアル
ノデアリマスルガ、此ノ一條々々ニ付テ審
議ヲ致シテ參リマスルナラバ、限ラレタ時
間ノ中ニ於テ逆モ煩瑣デアリマスカラ、他
ノコトハ姑ク措キマシテ、私ハ此ノ中デ重
要ナル二ツノ問題ニ付キマシテ、昨日質疑
應答ヲ重ネマシタル其ノ結果ニ現ハレタル
事項ニ付テ、極メテ簡單ニ念ノ爲ニ司法當
局ノ御意見ヲ、明白ニ致シテ置キタイ點ガ
アルノデアリマス、都合ニ依リマスルナラ
バ只今御答辯ヲ戴カスデモ宜シイト思フノ
デアリマス、御研究ノ上ニ願ツテモ宜イト
思フノデアリマスガ、第一ニ昨日申上ゲマ
シタヤウニ、私有財産制度否認ノ思想ヲ流
布シ或ハ宣傳シタル者ニ對スル取締規定ヲ
缺如シテ居ルト云フ點デアリマス、是ハ昨
日ノ御答辯ニ依リマスルト、其ノ程度ハ甚
ダシクナレバ煽動ノ中ニ入ル、又モウ一ツ
甚ダシイノハ第一條ノ規定ニ該當スル場合
モアルカラ、實際上ノ運用ニ於キマシテハ
不都合ハナイ、斯ウ云フヤウナ御答辯ノヤ
ウデゴザイマシタガ、所謂煽動ト云フコト
ハ是ハ實行ニ關スルモノデアリマシテ、サウ
シテ他人ヲシテ實行セシムル爲ニ之ヲ煽動
スルト云フコトデアアル、宣傳ト云フノハ實
行ニ關スルコトデハナクテ、單ニ其ノ思想ニ
對シテ共鳴ト理解ヲ求ムル爲ニ説明ヲスル
所ノ行爲デアアル、斯ウ云フコトノ御説明ガ
アツテ居ルノデアリマシテ、煽動ト宣傳トハ
本法案ノ第五條ニ於キマシテモ、明カニ之
ヲ區別セラレテ居ルノデゴザイマスカラ、煽

動罪ニ依ツテ處斷スルコトガ出來ルト云フ
ヤウナコトハ、苟モ宣傳罪ヲ處罰スルト云
フコトノ規定ガナイ以上ハ、法律ノ建前ト
致シマシテハ單ニ宣傳ヲナシタル行爲ヲ煽
動罪トシテ處罰スルコトハ是ハイケナイ、
法ノ運用ニ依ツテト言ハレマスケレドモ、
罪刑法定主義ノ國家ニ於キマシテハ、苟モ
法律ニ規定ガナイコトヲ、其ノ運用ニ依ツ
テ處斷スルト云フコトハ、法律ノ規定ナ
キニモ拘ラズ裁判所ノ擅斷ニ依ツテ國民ヲ
處罰スルト云フコトニナルノデアリマスカ
ラ、斯クノ如キ思想程今日ノ刑事政策ノ上
ニ於テ危險ナルモノハナイト私ハ考ヘルノ
デアリマス、ソコデ明白ニ致シテ置キタイ
コトハ、私有財産制度ヲ否認スル所ノ思想
ヲ宣傳致シマシタル者ニ對シテハ、本法ニ
依ツテ取締ル所ノ規定ガナイノデアアルカ、
アルノデアアルカ、又ハ本法ニ依ツテ取締ル
コトガ出來ナイデモ、現在ノ我が國ノ刑罰
法規ノ中ニ之ヲ取締ル所ノ規定ガアルノデ
アルカ、ナイノデアアルカ、是ガアルト致シ
マシタナラバ、私ハ何レノ法條ニ依ツテ取
締ツテモ宜シイト思フノデアリマス、是ガ
ナイト云フコトニナリマシタナラバ、先般
モ大政翼贊會デアリマシタカ、何處カノ人
ガ私有財産否認ノ思想ヲ講演シテ、宣傳ヲ
致シタト云フコトヲ聞イテ居ル、斯クノ如
キ者ガ續出致シマスル場合ニ、現行法規ヲ
以テ取締ル所ノ規定ガナイト云フコトニナ
リマス、私ハ是ハ思想上ノ重大問題デア
ルト思フ、斯様ニ考ヘマスルガ故ニ、本法
案ヲ取扱ヒマスル上ニ於テ、之ニ私共ガ議
員ノ權能ヲ發揮シテ、此ノ協賛ヲ與フル
力與ヘザルカノ態度ヲ決スル上ニ、ドウシ
テモ明白ニ致シテ置カナケレバナラス點デ

第六類第十九號 治安維持法改正法律案委員會會議錄 第七回 昭和十六年二月十八日

アルト思フカラ此ノ點ヲ伺フノデアリマス、ソレカラモウ一點ハ、憲法ヲ否認シ、憲法ノ條章ヲ否認シ、或ハ憲法ノ條章ヲ變革セント企テテ、其ノ目的ノ下ニ結社ヲ組織シ、或ハ宣傳ヲナシ、煽動ヲナシタル者等ニ對スル取締ハ、一體ドウ云フ風ニナルノデアアルカ、憲法ヲ否定スルト申シマシテモ、憲法ノ中デ團體ニ關スル事柄、ソレカラ私有財産制度ニ關スル事柄ヲ否認シ、或ハ否定致シマシタル場合ニ於ケル取締規定ハ、此ノ治安維持法ニアルノデアリマスアレドモ、憲法ノ條章ハ獨リ團體ト、ソレカラ私有財産制度ニ關スル事柄デハナイ、其ノ他ニハ政體ニ關スル事柄モアル、立憲政治ニ關スル事柄、議會政治ニ關スル事柄、今國民ノ中ニモ輕佻浮薄ナルコトガアリマシテ、徒ラニ何等ノ根據モナクシテ議會政治ヲ否認セントシ、我が立憲政治ヲ否認セントスル徒輩ガ續出致サントスル所ノ傾向ニアリマスルコトハ、吾々ハ國家ノ爲ニ頗ル遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、斯クノ如キ者ニ對スル取締ト云フモノハ、一體ドウ云フ風ニナルノデアアルカ、刑法第七十三條デゴザイマシタルカ、所謂朝憲紊亂ノ罪ニ該當スルノデアアル、或ハ其ノ他ニ是ガ取締ノ法規ガアルノデアアルカ、斯クノ如キモノハ取締ノ必要ナシトス様ニ御考ヘニナツテ居ルノデアリマセウカ、是ハ憲法ト申シマシテモ頗ル廣汎ニ互リマスルカラ、質問ヲ致シマスル者モ不便デアリマスシ、又御答辯ヲ願フニモ非常ニ不便デゴザイマスカラ、問題ヲ議會政治否認ノ思想、憲法政治否認ノ思想、之ヲ對象トシテ一ツ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○太田政府委員 御答ヘ致シマス、先ヅ第

一ニ私有財産制度否認ノ宣傳ヲナセ處罰シナイカト云フ點ニ付テ御答ヘ致シマス、是ハ昨日モ申上ゲタコトデゴザイマスガ、結社ニ關係致シマシテ宣傳致シマシタル場合ニ於キマシテハ、結社ニ關スル目的遂行行爲トシテ處置シ得ルノデアリマス、更ニ宣傳行爲ガ相當詭激ニ互リマシテ、其ノ實行方法等ヲモ示シマス場合ニ於キマシテハ、多ク煽動トナリマシテ、之ニ依ツテ處置シ得ル場合ガ多イノデアリマス、尙ホ宣傳致シマシタ其ノ行爲ヲ探究シテ見マスレバ、殆ド大部分ノ場合ソコニ私有財産制度否認ヲ目的トスル協議罪ガ發覺スル場合ガアラウカト存ズルノデアリマス、隨ヒマシテ殊更茲ニ宣傳ヲ舉ゲマセズデモ、大體ニ於テ處置シ得ルノデハナカラウカト考ヘタノデゴザイマスガ、更ニ現在ノ他ノ刑罰法規ヲ以テシマシテモ、例ヘテ見レバ私有財産制度否認ノ思想ヲ文書等ニ依ツテ流布致シマシタル場合ニ於キマシテハ、新聞紙法、或ハ出版法ニ依ツテ十分取締リ得ルノデゴザイマス、昨日モ申上ゲタコトデゴザイマスガ、此ノ度ノ治安維持法ノ改正ハ、過去ノ實績ニ徴シマシテ十分ナ點ヲ補足シ、現在ノ思想情勢ヲ推移ニ應ジテ其ノ取締ノ完璧ヲ期スルト云フ點ニ主眼點ヲ置イタノデゴザイマスガ、治安維持法ノ私有財産制度否認ニ關スル條項ハ、從來餘リ其ノ發動ヲ見タコトガゴザイマセズデ、隨テ私有財産制度否認ニ關スル罰則ヲ強化シナケレバ、取締ノ完璧ヲ期シ得ナイト云フコトニハ、考ヘテ居ラナイノデゴザイマス、尙ホ私有財産制度否認ニ關スル言動ヲ集會ニ於テ講談論議シタヤウナ場合ニ於キマシテハ、治安警察法ニ依ツテ之ヲ取締ルコトモ出來ルカト存ジマス、

次ニ、今回ノ改正ニ何故政體變革ニ關スル規定ヲ設ケナカッタカト云フ御質問デゴザイマスガ、實ハ此ノ點ハ色々考ヘテハ見タノデゴザイマス、併シ大正十四年ノ第五十議會ニ最初治安維持法ヲ提案致シマシタル時ニ、政府ノ原案ニハ、國體若ハ政體ヲ變革シ、ト云フ風ニ規定致シマシテ提案致シタルデゴザイマス、此ノ時ニ政府ノ考ヘマシタル所デハ、此ノ政體ヲ以テ立憲政體、議會制度ト解シマシテ、議會政治否認ノ思想ヲ防止スルコトヲ意圖シテ居ツタノデアリマスガ、衆議院ニ於キマシテ、政府立法ノ趣旨ハ之ヲ諒トスルケレドモ、政體變革ト云フ文字ハ、提案者ノ考ヘテ居ルヨリモ非常ニ廣イ解釋ヲ容レル餘地ガアル爲ニ、相當危險デアルト云フ理由デ削除意見ガ出タノデゴザイマス、之ニ對シマシテ、當時ノ政府ニ於キマシテハ熟慮ノ末、治安維持法ハ要スルニ無政府主義、共產主義ヲ目標トスル罰則デゴザイマシテ、斯カル思想ニ基ク行爲ガ、或ハ國體變革、或ハ政體變革、又ハ私有財産制度否認ト云フ形ヲ取ツテ現ハレルノデアリマスカラ、政體ニ關スル部分ヲ削除致シマシテモ、國體變革思想或ハ私有財産制度否認思想トシテ、十分取締リ得ルト云フ風ニ考ヘ、衆議院ノ削除意見ニ同意ヲ表シマシテ、貴族院デモ其ノ儘通過致シ、現行法ノ基本法ガソコニ成立ツタ次第デゴザイマス、ソコデ今度ノ改正ニ付キマシテモ、此ノ過去ノ衆議院及貴族院ニ於テ其ノ儘通過シマシタ御意見ヲ尊重致シマシテ、且又政體變革ト云フ言葉ハ相當曖昧ナ言葉デアリマスノデ、之ヲ規定致サナカッタ次第デアリマス、之ヲ規定シナカッタ理由ハ左様ナ譯デゴザイマシテ、立憲制度ヲ否認

スル思想ヲ取締ル意思ガナイト云フノデハナイノデアリマシテ、先日來申上ゲテ居リマスヤウニ、立憲制度ヲ否認スル其ノ行動、思想ハ、ソレダケガ目的デアルト云フ場合ハ殆ドナイノデゴザイマシテ、國體變革ノ思想或ハ又私有財産制度否認ノ思想、其ノ目的實現ノ手段トシテ行ハレルト云フ風ニ見テ居リマス、決シテ政體變革即チ立憲制度ヲ否認スル思想ヲ輕視シタ譯デハナイノデゴザイマス、唯左様ナ過去ノ經緯、且ツ其ノ立法技術上ノ問題カラ、之ヲ規定致サナカッタ次第デゴザイマス

○小畑委員 私有財産制度否認ノ思想ヲ宣傳シタルモノニ付キマシテハ、或ハ協議罪ガ成立スル場合モアラウシ、或ハ煽動罪ガ成立スル場合モアル、又結社ニ關スル限リハ結社ノ目的遂行罪モ成立スル場合ガアル、斯様ニ仰シヤツタノデアリマスガ、勿論サウ云フ場合モ想像セラレルノデアリマス、併シ結社ニハ關係シナイデモ、私有財産制度否認ノ目的ヲ以テ組織シタル結社ナドニハ關係シナイデ、輕佻浮薄ナル、今流行リノ人達ガ、唯何ノ根據モナクシテ私有財産制度否認ノ演説ヲシ、又講演ヲスルト云フヤウナコトハ、是ハ想像シ得ラレルノデアリマス、其ノ場合ニ於テ總テ煽動ニ入ルカ、協議ニ入ルカ、或ハ結社ニ入ルカ、何レカニ入ルデアラウト云フ考ヘ方ハ是ハ間違ツテ居ル、何レニモ入ラナイ場合ガ多分ニアリ得ルト私ハ思フ、ソレカラ法條ノ體裁カラ申シマシテモ、國體變革ニ關スル罰ノ方ハ第五條ニ明カニ、協議シタル場合ト、煽動シタル場合ト、宣傳シタル場合ト掲ゲデアハハ法文ガ明白ニ區別シテ居ル、左様デア

リマスカラ、若シ私有財産制度否認ノ方ニ付キマシテモ、宣傳シタモノヲ處罰シナケレバナラス、斯ウ御考ヘニナルノデアリマシタナラバ、國體變革ニ關スル第五條ト同ジ條文ニナサツテ、協議シタ場合ト、煽動シタ場合ト、宣傳シタ場合、是ハ悉ク罰スル、斯ウ云フコトニナサルベキモノデアラウト私ハ思フノデアリマス、ソレカラ從來ハ、國體變革ニ對シテハ細大漏ラサズ檢舉出來得ルヤウナ規定ヲ設ケナケレバナラナイガ、私有財産制度否認ニ付テハソコマデ考ヘテ居ラナダト云フヤウナ御話デゴザイマスガ、現行法ノ規定ハ國體變革ニ關スル規定ト私有財産否認ニ關スル規定トガ、第一條ノ第一項ト第二項トニ共ニ規定ヲサレテアルノデアリマシテ、其ノ他ノ法條殆ド選ブ所ガナイト見ルノデアリマス、又假ニ今御話ノ如ク、從來ハ私有財産制度否認ニ關スル罪ヲ犯シタ者ガナカツタト斯様ニ致シマシテモ、私ハ現在デハ大イニ必要ガアルノデアルト思フノデアリマス、ソレハ司法事件トシテ裁判所ニ現ハレタモノハナカツタカモ存ジマセヌガ、實際問題トシテ今日ノ我ガ國ノ思想界ヲ見マスト、私有財産否認ノ思想ヲ持ツテ居ル者ハ、必ズシモモ絶無トハ言ヘナイ、相當ニアル、相當ニアルト云フコトハ私ハ言ヒタクナイノデアリマスガ、本當ハ相當ニアル、從來ハ裁判所ニハ現ハレテ來ナカツタカモ知レヌ、ソレガ或ハ大學ノ教授デアリ、或ハ又役人デアリ、又上層部ノ指導階級ノ人デアルト云フガ爲デアルカドウカ知ラヌガ、裁判所ニハ現ハレテ來ナカツタト致シマシテモ、實際ニハ大分アル、苟クモ憲法ヲ否認スル所ノ、私有財産制度ヲ否認スルヤウナ不逞ノ

思想ヲ持ツテ居ル者ニ對シマシテハ、細大漏ラサズ悉ク法網ノ中ニ入レテ處斷ヲスル所ノ規定ヲ、ドウシテモ私ハ必要トスルト思フノデアリマス、今マデノ御答辯ニ依リマシテモ、此ノ第十一條ヲ以テ細大漏ラサズ如何ナル場合デモ、宣傳罪ト云フモノヲ處罰シ得ル御自信ガアルヤウニ私ニハ思ヘヌ、此ノ點ニ付キマシテハ尙ホ御答辯ガアリマシタラ伺ヒマスガ、伺ハヌデモ結構デアリマス、私ハ是ダケ伺ツテ置ケバ此ノ點ニ對シテハ、モウ大體當局ノ御意見ハ分ツタヤウニ存ジマス、ソレカラ今度ハ憲法政治否認ノ問題デアリマスガ、政體變革ニ關スル取締規定ヲ設ケヨウトセラレテ、衆議院デ否決ヲサレタ、是ハ沿革ヲ伺ヒマシテ能ク分リマシタ、能ク分リマシタガ、併シ今御話ニナリマシタヤウニ、政體變革セントスルモノハ、延イテ國體ヲ變革セントスル場合ノ方ガ多イ、斯ウ云フ御話デアリマスケレドモ、私ハ必ズシモサウデハナイト思フ、國體ヲ變革シヨウトスル考ヘハナクテモ、議會政治ヲ否認シ、政體ヲ否認シヨウト考ヘル者ガアルト思フノデアリマス、私ノ伺ヒマシタノハ、ナゼ其ノ規定ヲ設ケナイカト云フコトモ、ソレハ質問ノ中ニアツタノデアリマスケレドモ、其ノ外ニ現行法規デ以テ取締規定ガアルノカドウカ、憲法否認ノ思想ニ對シテ取締規定ガアルノカドウカト云フコトヲ伺ツタノデアリマス、之ヲ若シ當局ガ憲法第一條カラ憲法第十七條ニ至リマスマデノ規定ハ、之ヲ案ル者ガアツタト致シマスナラバ、ソレハ苟クモ天皇ノ大權ヲ直接ニ規定シタ所ノ事項デアアルノデアリマスカラ、是ハ即チ本法第一條ノ國體ヲ變革スルモノナリトシテ、當局ハ

之ヲ取扱フノデアルト云フ御見解デアリマスカラバ、私ハ是デ十分ダト思フノデアリマス、即チ今申シマシタ帝國議會制度ノ否認ニ付キマシテモ、憲法第五條ニ「天皇ハ帝國議會ヲ協贊ヲ以テ立法權ヲ行フ」ト云フ規定ガアリマス以上ハ、此ノ議會制度ヲ否認スル者ハ、憲法ニ規定セラレタ、天皇ノ大權ヲ侵サントスルモノデアルカラ、第一條ノ國體ヲ變革ト云フ中ニ確ニ入ルノデアルト云フ御言明ガアリマスナラバ、私ハソレデ十分ダト思フノデアリマスガ、是等ノモノハ第一條ノ國體變革ノ中ニハ入ラナイノダト云フコトニナリマス、總テノ場合ヲ包括シテ、憲法否認、議會制度否認ノ思想ヲ取締ルト云フ所ノ規定ガナイ、斯ウ云フコトニナル、私有財産制度否認ノ問題ニ致シマシテモ、憲法否認ノ問題ニ致シマシテモ、今治安警察法ナドノ話モ出マシタケレドモ、治安警察法ハ、其ノ法ノ特殊ナル條件ヲ具備スル場合ニノミ適用サレルノデアツテ、而モ治安維持法ニ定メラレタ罰則ノ如キハ、今ハ其ノ點ハ申シマセヌケレドモ、此ノ治安維持法等ニ比ベマスレバ、到底比較ニナラスモノデアリ、斯様ナ規定ヲ以テ満足スベキモノデハナイト思フノデアリマス、餘リ長クナリマシテハ、諸君ノ質問ノ時間ヲ塞グコトニナリマスカラ、私ノ質問ハ是デ一先ヅ打切りマス、之ニ對シテ御答辯ガアリマスレバ、伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

テモ、先程申述ベマシタ通りデゴザイマス、尙ホ議會制度ノ否認ノコトガ、憲法第一條カラ第十七條ニ規定シテアル件ノ中ニ入ツテ居リ、ソレ等ノ事柄ガ直チニ治安維持法ノ第一條ニ觸レルカドウカ、國體變革ノ問題ニ觸レルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、具體的ノ事案ニ當ツテ見マセヌト、直チニソレガ觸レルカ否カト云フコトヲ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス、ドウゾ左様御諒承ヲ願ヒマス

○世耕委員 一寸關聯シテ伺ヒマス、只今ノ點ガ非常ニ重要ダト思フノデアリマスガ、國體ノ問題ニ付テハ憲法學者ニ於テモ色々說ガアルヤウデスガ、大別シテ、斯ウ云フ學說ガ拾ヒ上ゲラレルコトダラウト思フノデアリマス、先ヅ第一ニ、我ガ憲法ハ日本ノ國體ヲ法文化シタモノデアルト云フ說、第二ニハ、日本ノ憲法ハ政體ヲ規定シタモノデアツテ、國體ヲ規定シタモノデナイト云フ說、ソレカラ第三ノ學說ハ、帝國憲法ハ國體ノ大本ヲ擧ゲ、而シテ併セテ此ノ憲法發布以後ノ日本ガ據ルベキ政體ヲ規定シタノデアアル、斯ウ云フ說ガ學者ノ中ニ唱ヘラレテ居ルノデアリマスガ、要約致シマス、國體ト云フコトト政體ト云フコトトハ、密接不離ナ關係ニ置カレテアルノデアツテ、政體問題ニ觸レバ必ズ國體問題ニ觸レル、國體問題ニ觸レル時ハ必ズ政體問題ニ觸レル、斯ウ云フヤウナ結論ヲ得ラレルノデアリマスガ、只今擧ゲタ三ツノ學說ニ對シテ司法省ハドウ云フヤウナ結論ヲ御持チニナツテ居ルカドウカ、此ノ際御説明ヲ仰ギタイト思フノデアリマス

○秋山政府委員 國體問題ニ觸レルコトハ勿論政體問題ニ觸レ、又政體問題ニ觸レル

コトガ自然國體ノ問題ニモ觸レテ來ルト云フコトニ付キマシテハ是マデ御説明申上デマシタ通り、政體問題ハ、多クハ國體變革ノ思想ニ基イテ、國體變革ノ思想ノ實現ノ一ツノ手段方法トシテ、行ハレル場合ガ多イノダト申上ダタノハ、其ノ趣旨ヲ申上ダタノデアリマス、司法省トシテハサウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○世耕委員 サウシマスルト、巷間傳ヘラレテ居ル所ニ依ルト、日本ノ憲法ハ第一條ダケアツタラ宜イノダ、二條以下ハドウデモ宜イノダ、二條以下ノ問題ニ付テ區々タル憲法論ヲナスガ如キハ……ト云フヤウナ議論ヲナシテ、世間ヲ迷ハス前大官ガ居リマスガ、斯ウ云フモノニ對シテハ、此ノ治安維持法ハ適用サレルノカドウカ、具體的ナ御考ヘヲ一ツ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○秋山政府委員 具體的ノ場合ト申シマスガ、ソレハドウ云フコトデスカ、ハツキリシマセスガ……

○世耕委員 只今申上デマシタヤウニ、日本ノ憲法ハ一條ダケ守ツテ居レバ宜イノダ、二條以下ハドウデモ宜イノダ、ソレヲダズ……言フヤウナコトハ、枝葉末節ニ因ハレテ居ル憲法論デアツテ怪シカラヌ、斯ウ云フヤウナ二條以下抹殺論ヲスルモノガ今日實際ニアル、名前ヲ擧ゲテモ宜シウゴザイマスガ、サウ云フ者ノ取扱ハ、此ノ治安維持法カラドウ云フ風ナ取扱ヲスルカト云フノデアリマス

○秋山政府委員 憲法第二條以下ノ條文ハ枝葉末節ノモノデアツテ、ドウデモ宜イノダト云フヤウナ議論ノアルコトヲ私ハ能ク存ジマセスガ、若シサウ云フ議論ガ國體變

革ノ思想ニ基クモノデアリ、又私有財産制度否認ノ思想ニ基イテ、其ノ實現ヲ意圖シテ居ルト云フヤウナ問題ニナリマスレバ、是ハ勿論治安維持法ノ法條ニ觸レルコトニナルト思ヒマス、憲法第二條以下ノ條文ガ不要ナドト云フコトハ……具體的ニスク……ノ理由ニ依ツテスク……ノ點ガ不要ダト云フコトハ、具體的ノ事案ニ付テ考ヘテ見マセスケレバ、此ノ點ハハツキリ申上ダルコトハ出來ナイト思ヒマス

○世耕委員 非常ニ重要ナ問題デアリマスカラ、モウ少シ質問ヲ御許シ願ヒタイト思ヒマス、憲法第一章第一條ニハ「大日本帝國ハ萬世一系ノ天皇之ヲ統治ス」、第二條ハ「皇位ハ皇室典範ノ定ムル所ニ依リ皇男子孫之ヲ繼承ス」、第三條ハ「天皇ハ神聖ニシテ侵スヘカラス」、第四條ハ「天皇ハ國ノ元首ニシテ統治權ヲ總攬シ此ノ憲法ノ條規ニ依リ之ヲ行フ」ト書イテアリマス、先程私が説明ノ時ニ申上デマシタ如クニ、帝國憲法ハ國體ノ大本ヲ掲ゲ、併セテ此ノ憲法發布以後ノ日本ガ據ルベキ政體ヲ規定シタノデアル、是ガ今日學者ノ一致シテ學說デアリ、極メテ常識的デアツテ、斯ク解釋スルコトガ當然ダト思ヒマス、尙ホ又明治大帝ガ憲法發布ニ際シ、「朕カ現在及將來ノ臣民ハ此ノ憲法ニ對シ永遠ニ從順ノ義務ヲ負フヘシ」ト云フコトヲ宣ハセラレテ居ル、此ノ趣旨カラ言ヒマシテモ、二條以下ヲ抹殺シテモ宜イノダト云フヤウナコトハ、假令ソレガ國體變革トカ、私有財産制度否認トカ、政體ノ變革トカヲ目的トスル所ノ組織的ナ思想ノ有無ニ拘ラズ、私ハ當然此ノ治安維持法ノ目的ニ取扱ハレナケレバナラス、斯ウ解釋スルノデアリマスガ、此ノ點ハ如何デアリ

マスカ

○秋山政府委員 只今御尋ネノヤウナ事柄ハ多クハ國體變革ノ思想ニ基キ、私有財産制度否認ノ思想ニ基クモノダト思ヒマス此ノ治安維持法ニハ國體ノ變革ヲ目的トスル場合ト、私有財産制度ヲ否認スル場合、是ガ主トナツテ居リマスノデ、此ノ條項ニ當嵌メテ考ヘナケレバ、此ノ治安維持法ニ觸ルカドウカハ決メラレナイト思ヒマス

○藤田委員 先刻來ノ問答ヲ拜聽シテ居リマス、問題ヲ以テ問題ニ答ヘテ居ルカラ、グル……廻リヲシテ居ルヤウニ思フ、私ハ內務大臣ハ法律學ノ大家デアリマスシ、國家意識ニ透徹サレテ居ル先輩デアリマスカラ、內務大臣ニ伺ヒタイト思ツテ伺ツテ見タノデスカ、最初ニ國體ノ定義ヲ教ヘテ貰ヒタイト言ツタラ、內務大臣ハ洵ニ上手ニ逃ゲラレタ、文字ヲ竝べルト色々ナ議論ガ出ルカラ、憲法第一條ヲ見テ得心セヨト言ハレタ、ソレナコトハ內務大臣ニ教ヘテ戴カナイデモ、私モ法律學ヲ多少ヤツタコトノアル端クレデアルカラ、先刻承知シテ居ル內務大臣ハ言葉ヲ多少誤解ヲ生ズル心配ガアルノデ逃ゲタノデアリマセウ、巧妙ナ逃ゲ方ダト思ツテ私ハ敬服シテ居ルノデアリマスガ、要スルニ國體ノ問題デアル、國體ヲ變革スルト云フ其ノ國體トハ何ヲ指スノカ、日本ノ國民タル以上ハ我が國ノ國體ト云フモノハ誰デモ常識的ニハ觀念付ケラレテ居ル、相當ノ教育ヲ受ケタ者デ日本ノ國體ニ理解ノナイ者ハ居ラス管デアル、併シ文字ニ現ハレテ居ル國體トハ何ヲ指スカ、何ヲ意味スルカ、國體ノ觀念ハ何カ、當局ノ説明デハ私ハ得心ガ行カヌ、世耕君ノ申シタヤウニ、憲法ノ條章ニ基イテ形式

的ニ見レバ、我が國體ハ萬世一系ノ天皇之ヲ統治ス、其ノ統治ノ方法ハチャント憲法ニ書イテアル、陛下ハ此ノ憲法ノ條章ニ基イテ統治權ヲ行ハセラレルノデアル、憲法ノ條章ニハ議會ガアル、是ノ變革ヲ企テル者ハ即チ國體ノ變革ヲ企テル者デアル、議會否認ノ思想ハ國體變革ノ思想デアル、斯ウ斷ジテ取締レバ議論ハナイノデアル、ソコデ私ハ當局ニ御尋ネシナケレバナラスコトガ一ツアル、私ハ此ノ委員會ヲ二三日休ンデ居テ甚ダ恐縮デスカ、伺ヒタイノハ獨立ノ運動デス、獨立ノ運動トハ何カ、當局ノ御答ヘデハ、獨立ノ運動ハ統治權ノ及ブ範圍ヲ縮小スルコトニナルカラ是ハ國體ノ變革ダ、ダカラソレハ第一條ニ依ツテ取締ルノダ、斯ウ御言明ニナツテ居ラルルヤウニ記憶シテ居リマスガ、ソレニ相違ナイカドウカ、一應確カメテ置キマス

○秋山政府委員 只今ノ御意見ノ通りノ意味デゴザイマス

○藤田委員 私ハ國體ト云フ觀念ヲ政府當局ハドウ考ヘテ居ラレルカト云フコトヲ承リタイノデス

○秋山政府委員 國體ハ要スルニ憲法第一條ニ規定シテアリマス通りノ意味デアリマシテ、領土ガ縮小セラレタコトガ直チニ國體變革ノ問題ニナルト云フコトハ、是ハ統治權ヲ制限スルコトニナルト云フヤウナ趣旨カラ、縮小シタ場合ハ違反ニナル、斯ウ云フ風ニ解釋サレテ居ルモノデアリマス

○藤田委員 私、國體ト云フコトヲ斯ウ云フ風ニ解釋シテ、思想ヲ取締ツテ戴ク譯ニハ行カヌダラウカト思ツテ、私ノ希望ヲ申上デテ御意見ヲ聽イテ見タイ、今マデノヤウナ理窟ノ言合ヒト云フヤウナコトハ、甚

ダ禮ヲ缺キマスカラ、ソレハ遠慮致シマス、只今世耕君ノ申シマシタヤウニ、國體ト云フモノガ、如何ナルモノカト云フ觀念ハ、國民ノ間、吾々ノ間ニ常識的ニハ納得セラレテ居リマスケレドモ、言葉ニ表ハシテ國體ト云フモノヲ見ル時ニハ、是ハヤハリ平沼内務大臣ガ仰シヤツタヤウニ、言ヒ居ルト色々ナ議論ガ起ルカラ、逃ゲルト云フコトモ無理モナイノデアリマスガ、ソレナラバ憲法ノ條章ヲ睨ンデ、國體トハ斯クノ如キモノデアルト言ツテ、憲法ヲ真正面ニ突出シテ參ツタ宜イデハナイカ、憲法發布ノ御詔勅ヲ拜讀致シマシテモ、祖宗カラ朕ガ承ケタ所ノモノデ、斯ウ云フ風ノ不磨ノ大典ヲ宣布シテ之ニ依ツテ統治權ヲ行ツテ行クノダ、斯様ニ明治大帝ハ仰セラレテ、形式的ニハ欽定憲法ヲ御定メニナツタ、サウシテ此ノ憲法ノ條規ニ依ツテ統治權ヲ行フノダ、此ノ條規ニ依ツテ統治權ヲ行フト云フ其ノ條規ノ中ニハ、議會ト云フモノモアレバ、色々チヤント動カスベカラザルモノガアツテ、若シ之ヲ變更スベキ必要ガアツタナラバ、朕竝ニ朕ノ子孫ハ發議ノ權ヲ執ツテヤルノデアツテ、其ノ以外ノ者ハ何人モ喉ヲ容レルコトハ許サヌゾ、爾及ビ爾臣民ノ子孫ハ永遠ニ服從ノ義務ガアルノデアル、サウシテ此ノ負擔ヲ分ツニ堪フルコトヲ朕ハ疑ハヌゾト云フコトヲ、ハツキリ仰セラレテ居ルノデアリマスカラ、國體ガ何カト云フヤウナ理窟ヲ云フノハ止メテ此ノ憲法ノ條章ヲ以テ國體ト見サヘスレバ宜イデハナイカ、サウシテ憲法ヲ變更スルト云フ思想ハ、即チ國體ヲ變革セントスル思想デアル、斯ウ見テ取締リサヘスレバ一番安全デハナイカト私ハ思フノデアリマス、私

ハ現在頗ル憂ヒマス同時ニ、不愉快ニ感ジマスノハ、議會否認ノ思想デアリマス、議會否認ノ思想ガ到ル處ニアルノデアリマス、或ハ國民ノ希望輿論ト云フモノヲ正確ニ議會ニ反映スルコトヲ怠ツタト云フ部分モアリマシタラウ、過去ヲ詮議スレバサウ云フコトモアリマシタラウ、是ハ衆議院ニ議席ヲ持ツタ者ノ個々ノ心得ガ茲ニ生ジタモノデアリマセウケレドモ、議會ヲ否認スル思想ト云フモノハ許スベカラザルモノデアル、ソレヲ此處デ押問答ヲシテ、此ノ政體ノ否認ハ國體ノ否認ニナルノデアアル國體ノ否認ハ政體ニ及ブノデアルト云フ譯ノ分ラヌ議論ヲ繰返シテ居リマシタコトモ、政體ト云フモノト國體ト云フモノノ觀念ノ區域ガ分ラヌカラ、サウ云フヤウヨシイ問答ガ繰返サレルノデアラウト思ヒマス、議會否認ノ思想ト云フモノハ、嚴肅ニ取締ラナケレバイカヌ、國民ノ中ニ議會否認ノ思想ト云フモノヲ許シ置キマスナラバ、恐ルベキ結果ヲ生ズルノデアリマス、私ノ承ツテ居リマス所デハ、贅澤ハ敵ダトカ云フヤウナ宣傳ヲ頻リニヤツテ、其ノ終ヒノ果デニ恐ルベキ「ロシヤ」ノ革命ガ起ツタト云フコトヲ聞イテ居リマス、議會否認ノ思想ト云フモノガ、將來如何ナルモノヲ生ミ來ルカト云フコトハ、先ヅ芽生エノ時分ニ摘ミ剪ツテシマハナケレバイカヌト思フノデアリマス、我ガ帝國ハアノ祝詞ノ詞ヲ御覽ニナツテモ、八百萬ノ神ガ天安ノ河原ニ於テ神議リニ議リ給ウテ政治ヲ行ウテ參ツタ、サウシテ三千年ノ歴史ヲ經テ今日ニ及ンデ居リマスコトハ、アノ祝詞ヲ御覽ニナツテモハ

ツキリシテ居ルノデアリマス、此ノ議會否認ノ思想ヲ抱ク者ノ橫行ヲ許スト云フコトハ、以テノ外ノコトデアルト思フノデアリマス、ソコデ政體トカ國體トカコンガラガツテ參ルノデアリマスガ、形式的ニ國體ト云フ觀念ヲ捉ヘルノニハ、憲法ノ條章ニ據ツテ國體ト云フ觀念ヲ捉ヘテ行クノダ、憲法ノ條章ニ變革ヲ加ヘルコトハ國體ノ變革ニナル、私ハ先般斯ウ云フコトヲ聞キマシタ、「デマ」ガモ知レマセヌガ、或ル在郷軍人ノ相當ノ地位ノ人デ、憲法ト云フモノハ伊藤博文ガ作ツタモノデハナイカ、アンナモノハドウデモ宜イデハナイカ、アレハ變ヘテシマツテ、現在ノ時局ニ應ズルヤウニ足手纏ヒハ止メテシマツタ宜イデハナイカト云フ講演ヲセラレタト云フコトヲ、私聞キマシタガ、サウ云フヤウナ不謹慎ナ者ガ出テ來テ居ル、而モソレ等ハ社會上相當ノ地位ニアル者ガサウ云フコトヲ言フ、サウ云フコトヲ聽イタ國民ハ、國民デ憲法ヲ知ラザル者、我ガ國ノ國體ノ組織ヲ十分ニ理解セザル者ハ、如何ナル間違ヒニ陥ルカモ分ラナイ、恐ルベキ間違ヒニ陥ルノデアリマス、是等ノコトカラ考ヘテ見マス、左様ナ思想ノ橫行ヲ許スト云フコトハ以テノ外ノコトダト思フノデアリマス、ドウシテモ取締ラナクテハナラヌ、力ヲ入レテ取締ラナケレバナラヌ所ノ性質デアルト、私ハ思フノデアリマス、當局ノ御考ヘハ是等ノ思想ハ問題問題ニブツツカツタ其ノ時々ノ事實ヲ調査シテ、研究スルノダト云フヤウナ手温イ御考ヘヲ以テ臨マレルノカ、嚴肅ニソレヲ取締ル趣旨ノ御考ヘデアルカ、是ハ解釋ノシヤウニ依ツテドウニモ解釋ガ出來ルノデス、サウ云フヤウナ考ヘデ此ノ治安維持法

ノ實施ニ當リサヘスレバ、取締ガ嚴肅ニ出來ルノダガ、當局ハドウ云フ御考ヘヲ以テ臨マレルノカ、之ヲ能ク承ツテ見タイノデアリマス、サウ云フヤウナ思想ガ橫行跋扈シテモ、放ツテ置イテ宜イノカ、此ノ議會否認ノ思想ガ國民全體ニ及ンデ參リマシタナラバ、如何ナル結果ヲ生ズルカ、思ヒ半バニ過ギル、今代議士ノ議席ヲ占メテ居リマスル吾々ノ行動ガ惡ケレバ、選舉ヲスレバ宜イ、ソレニ當選シナイヤウニスレバ代ツテ立派ナモノガ登場シテ來ルト云フノデアリマス、私ハドウシテモ其ノ思想ガ分ラヌノデアリマス、私ハ翼贊會ノ問題ナドデモサウ云フヤウニ聞クノデアリマス、翼贊會ハ立派ナモノデアアル、ケレドモ翼贊會ニハドウモ議會ノ組織、衆議院ノ連中ヲ否認シテ居ル思想ガ潜在意識的ニアルノダ、斯ウ云フコトヲ言ツテ批評スル人ガアル、一寸考ヘテ見ルトドウモ政府ノ説明ヲ聽イテモ、實際ノ事實ヲ見マシテモ、嚴肅ナル議會制度ガアリ、各地方ノ自治團體ニハ自治ノ決議機關ガアルニ拘ラズ、協力會議ト云フモノヲ作ツテヤツテ居ル、私ハ今日ハサウ云フヤウナ批評ノ言論ハ遠慮シテ居リマスケレドモ、割切レナイモノガアル、サウ云フ思想ノ中ニ決議機關ヲ否認スル、議會否認ノ思想ガ潜在意識的ニアルノデハナイカ、是ガ今日ノ政治ノ明朗ヲ妨ゲ、不明朗ニシテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ私ハ心配シテ居リマス、只今ノヤウナ議會否認思想ノ橫行ヲ許ス積リカ、許サヌ積リカ、許サナケレバ此ノ規定デ解釋シテドンドン進ンデ行ケバ行ケルノデアリマス、ドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレマスカ承リマス

○秋山政府委員 議會制度否認ノ思想ハ許

サレザル思想デアルト考ヘマス、多クノ場合ニ於テハ國體變革ノ目的トスル思想カラ派生シテ來ルモノト思ヒマスルシ、又治安維持法ノ國體變革ノ場合ニ當ラヌ場合ガアリマシテモ、其ノ他ノ規定、例ヘバ刑法ノ内亂罪ト云フヤウナ規定ニ依ツテ、相當取締リ得ルモノト思ツテ居リマス

○藤田委員 ドウモ其ノ御意見デハ痒イ所

ニ手ガ届カナイヤウナ氣ガスルノデスガ、モウ少シ端のニ申シマス、憲法ノ規定ヲ見マシテモ、憲法改正ノ條文ガ補則ノ七十三條ニアリマス、將來此ノ憲法ノ條項ヲ改正スルノ必要アルトキハ勅命ヲ以テ議案ヲ帝國議會ノ議ニ付スヘシ此ノ場合ニ於テ兩議院ハ各、其ノ總員三分ノ二以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開クコトヲ得ス出席議員三分ノ二以上ノ多數ヲ得ルニ非サレハ改正ノ議決ヲ爲スコトヲ得ス、斯様ニ憲法補則ニ其ノ時代ニ應ズル變化ヲ遂ゲテ行クト云フコトハアリマス、併シ憲法改正ノ問題ハ全ク上御一人ノ御心持デナサルモノデアリ、斷ジテ臣下ノ彼此レ考ヘタリ、言ツタリスベキ部分デハアリマセス、ソコデ議會否認ノ思想ガアリ、之ヲ實現スル方法ハドウ云フコトニ依ツテ形付ケラレルカト云フト、只今刑事局長ノ御話ノヤウニ、内亂罪ノ形ニナツテ出テ來ルデアラウ、サウ云フモノハ許サス、斯ウ言フ、ソレデハ遲イノデアリマス、議會否認ノ思想ノ横行スルコトヲ屏息セシメナケレバ、ソコマデ來ナイデ、内亂罪ノヤウナ實行ニ移シテ行クト云フ場合ニ、バタ／＼シテ抑ヘテ行ク、私有財産否認ノ赤ノ思想ヲ學校ノ教壇デ教師ガ論ジタリ、サウ云フ著書ヲ讀シタリコトヲ放

ツテ置イテ、サウ云フ思想ヲ實行ニ移シテ來タ時ニバタ／＼防ガウトシテモ防ゲルモノデハナイ、思想ノ根柢ノ芽生エテ碎イテシマハナケレバナラヌ爲ニ、治安維持法ノ必要ガ生ジタノデハアリマセス、刑法ノ所謂内亂罪ノ豫備罪デアリ此ノ豫備若クハ陰謀ノ時ニ、斯様ナモノヲ叩キ潰シテシマフト云フ國家ノ生存ノ必要カラ、此ノ治安維持法ヲ制定スル以上ハ、議會否認ノ思想ガ其ノ儘育ツタラドウナルカト云フコトヲ考ヘテ見タナラバ、其ノ思想ハ許スベカラザルモノデアアル、其ノ思想ヲ處理シテシマフノニハ、只今ノヤウニ國體ノ觀念ヲ、憲法ニ書イテアル所ヲ形式的ニ見テ論ズレバ、國體ハ斯様ナモノデアアル、其ノ一部分ヲ變更スルモノハ國體ヲ變革スル、違憲ニ當ル、ガカラ一寸演説シテモイカス、一寸講演シテモソレニ當ル、斯ウ言ヘバ直グニ屏息シテシマフデハアリマセス、司法省ガサウ云フ御考ヘテ御持チニナラズ、相變ラズ、ソレガ横行シテモ仕方ガナイ、愈々縛ラナケレバナラヌ程國家ニ害ヲ爲スヤウニ發達成長シタ時ニ、ソロ／＼手ヲ着ケルノダト云フヤウナ緩慢ナ御考ヘテ御持チナカ、私ノ申上ゲルコトハ餘リニ取越苦勞ダ、心配ニ及バナイ、教室デ論ズル議論位ノ所デ宜イノデハナイカト云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルノカ、是非非常ニ重大ナ問題デアリマシテ、心配ニ堪ヘナイカラ、御尋ネスルノデアリマス

○秋山政府委員 議會制度否認ノ思想ノ取締リ緩慢ニシテ宜シイト云フ考ヘデハアリマセス、斯様ナ思想ガ宜シクナイト云フコトハ勿論司法省トシテモ考ヘテ居ルノデアリマス、唯私ノ申上ゲテ居リマシタコトハ、

結局議會制度否認ノ思想即チソレガ悉ク國體否認ノ思想ナリ、斯ウ云フ風ニハ言ヘナイ場合ガアル、併シナガラ多クハ國體變革ノ思想カラ派生シタ即チ國體變革ノ思想ノ手段方法トシテ、サウ云フコトガ言動ニ現レテ來ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、決シテ議會制度否認ノ思想ハ取締リ緩慢ニシテ、サウ云フ思想ガ悉ク國內ニ浸潤スルコトヲ許スベキモノダト云フ風ニ考ヘテ居ルノデハゴザイマセス

○濱野委員 議事進行ニ付テ——私先程カラ藤田氏ノ御質問ヲ承ツテ居リマス中ニ、事重大ナル國體問題ニ關聯シテ居リマスノデ、藤田氏ノ深遠ナル御研究ヲバ傾聴シマシテ、敬服致シテ居ルノデゴザイマスガ、何分ニモ事ハ國體ニ關スル問題デゴザイマシテ、全國民ノ視聽ヲ一ニ集メル問題デアルト存ジマス、此ノ國體ノ明徴ト云フコトガ非常ニ喧シクナツテ居リマス今日ノコトデアリマスカラ、委員長ハドウカ本日ノ國體ニ關スル速記録ダケハ念入リニ御自身御檢討ニナリマシテ、サウシテ其ノ答辯又ソレニ關聯シタ質問ガ十分ニ本當ニ國體觀念ト齟齬シナイヤウニ——私ハ齟齬シテ居ルトハ申シマセスガ、併シナガラ或ハ答ヘガ二ツ、三ツニナツテ居ルヤウナ場合ガアルカモ分ラヌト存ジマス、國體ニ關スル限リハ速記録ヲ委員長ガ十分ニ御檢討ニナリマシテ、善處セラレル必要ガアルト存ジマス、議事進行ニ依ツテ之ヲ申上ゲテ置キマス

○服部委員長 濱野君ノ御注意能ク了承致シマシタ

○小畑委員 議事進行ニ付テ——只今濱野委員カラ申サレマシタノト私ハ同様ノ意見

ヲ持ツテ居ルノデアリマス、唯獨リ委員長ガ速記録ニ依ツテ御研究ニナリマスルノミナラズ、私ハ司法當局ニ於テモ、政府ニ於テモ、本日ノ此ノ國體ニ關スル議論ニ付テハ、更ニ慎重ナル御研究ヲ重ネラレテ、サウシテ改メテ御答辯ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス(ヒヤ／＼)サウシテ之ニ關聯シテ政體變革或ハ憲法否認ノ思想ノ取締リ關シマシテモ、事極メテ重大デアリマスルカラ、此ノ際當ニ司法當局ノミナラズ、政府ノ責任アル御研究ノ下ニ、政府ノ見解ヲ明カニセラレタイト思フノデアリマス、先刻來ノ御答辯ニ依リマスルト、私ハ頗ル遺憾ナ點ガ多イヤウニ思フ、隨テ私個人ノ考ヘト致シマシテハ、昨日來ノ御答辯ノ模様ニ依リマスルト、本法案ノ原案ノ儘認メテ宜シイカト云フコトニ付キマシテモ、相當ノ議論ヲ生ズルノデアラウト思ヒマスカラ、ドウカ當局ニ於テ十分慎重ニ御研究ノ上、改メテ御答辯アラシコトヲ願フノデアリマス

○服部委員長 皆様ニ申上ゲマス、只今濱野君ヨリ御親切ナル御希望モアリマシタシ、又小畑君ヨリモ折角ノ御趣意ガ述べラレタノデアリマス、實ハ委員長ハ濱野君ノ御注意ニ依ツテ、政府委員ニ念ヲ押シテ、適當ノ時機ニ皆様ニ政府ノ意思ノ在ル所ヲ御傳ヘ致シタイト思ヒマシタケレドモ、小畑君ノ御注意モゴザイマシタカラ、此ノ際只今ノ委員諸君ノ質問ニ對シテ明快ナル御答辯ノ出來ルヤウニ、政府ニ於テ協議ヲ纏メラレテ、適當ノ時機ニ此ノ場所ニ於テ言明セラレンコトヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス(拍手)

○濱野委員 議事進行ニ付テ——速記録ヲ

十分ニ御檢討ニナツテ、教育ニ關スル方ガ之ヲ見ラレテ惑ヒガナイヤウニセラレタイ、政府ノ答辯ヲ統一サルコトハ必要デアリマスケレドモ、ソレ以上ニ此ノ殘サレタ速記録ヲ十分ニ御檢討ニナツテ、サウシテ質問者、理事諸君トモ御協議ノ上、十分ニ善處サレマシテ、曖昧ナ文字ガ現ハレナイヤウニ御注意アラシメコトヲ重ネテ御願ヒ致シマス

○服部委員長 宜シウゴザイマス、濱野君ノ御趣旨ニ副フヤウニ致シマス

○世耕委員 改メテ御答辯ヲ願フ便宜上、私ハ此ノ際註文ヲシテ置キタイト思フノデアリマス、憲法第一條ハ國體ニ關スル規定デアルト云フ説ハ、此ノ間内務大臣カラ御答辯ガアツタヤウデアリマス、尙ホ第二條第三條ハ、天皇ニ關スル規定、第四條ハ政體ニ關スル規定、斯ウ吾々ハ解釋致シテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ纏メテ御答辯ヲ後日得タイト云フコトヲ御願ヒシテ置キマス

○服部委員長 只今世耕君ノ御希望ニ副フヤウニ御願ヒ致シマス

○藤田委員 只今濱野君カラ御注意ガアリマシタガ、是ハ此ノ前此處誰方カラカ、獨立運動ガアルガ、ソレハドウスルノカト云フ質問ニ對シテ、司法當局ハ、獨立運動ヲスルコトハ統治權ノ及ブ範圍ヲ縮小スルコトニナルカラ國體ノ變革ダ、ダカラソレデ取締レルノダト云フヤウナ趣旨ノ御答ヘガアツタコトガ私ノ耳ニ殘ツテ居リマシタカラ、ソレデ私ハ統治權ト云フ莊嚴ナル、神聖ナルモノノ觀念ト、統治權ノ及ブ所ノ領土ノ觀念トガ、一寸私ニハ好イ言葉ガナイノデアリマスケレドモ、得心ガ行カナカツ

タ、行カナカツタカラ、領土ト云フモノガ統治權ト云フモノノ觀念ノ一ツノ構成分子ニ考ヘラレルト云フコト、サウスルト領土ノ擴張モヤハリ良イコトデハアルケレドモ國體ノ變革ト云フコトニ落込ンデ來ハセヌカ、サウスルト現在大陸政策ニ對シテ國民ノ大部分ガ全體的ニ考ヘテ居ル所ガ、非常ニ不穩當ノヤウナ感じガ起ツテ來ルデヤナイカ、斯ウ云フ心配ガ生ジテ來タカラ實ハ御尋ネシタヤウナ譯デアリマス、ダカラ統治權ト云フ觀念ニ付テ御答ヘニナルナラバ、前ノ御答辯モ一ツ御調ベニナツタ方ガ宜クハナイカト氣付キマシタカラ申上ゲタ譯デス、今私ハサウ云フ問ヒヲ起シマシタガ、前ニ此處デ聽イテ居ツテ一寸腑ニ落チナカツタノデス、ソレハ獨立問題ノ御話ガアツタ時デアツタヤウニ思ヒマス、ソレカラ私ハモウ再ビ質問ヲ致シマセヌカラ一言希望ヲ申上ゲテ置キマス、國體ト云フ觀念ニ對シマシテハ、何人モ常識的ニハ疑義ノナイモノデアリマスルガ、サレバ國體ト云フモノハ如何ナル觀念カ、斯ウ突出シテ言ハレカ中學校ノ生徒ニ、先生國體トハドウ云フコトデスカ、斯ウ聽カレタ時分ニ、得心サセテ答ヘテヤラナケレバナラス、ソレニハコチラニハツキリシタ思想ガナケレバナラス、國體トハ言ハナクテモ分ツテ居ルデヤナイカト云フ風デハイカス、國民教育ヲ經テ來ル者ニ、我ガ國ノ國體ニ付テ明確ナ觀念ヲ與ヘテヤラナケレバナラス時ニハ、ドウ云フ言葉ヲ使フカ、斯ウ云フ時ニ一番無難ナモノハ憲法ヲ引張り出スノガ一番無難デアアル、憲法ノ第一條カラ讀ンデヤツテ、斯ウ云フノガ我ガ國體デ、日本國ダ、斯ウ云フ所ニオ

前ガ生レタノハ光榮デアアル、有難イコトデアアル、斯ウ言ウテヤレバ一番心配ナイ、ソレヲ國家主義ト云フノハ斯ウ云フモノダト云ウテ色々列ベルト外國ノ思想デ説明シテ間違ツタリスルヤウナコトガ起ル、ソレト同様ニ、此ノ治安維持法第一條ニ書イテアル「國體ヲ變革スル」ト云フ、此ノ國體ト云フ觀念ハ如何ナルモノカト云フコト、形式的ニ憲法ニ制定サレタ所ノ字句ニ拘泥シテ考ヘテ戴クト、一番安全ナンデアリマス、サウスルト私ノ希望ハ此處カラ生ズル、此ノ憲法ヲ紛淆スルノ思想、即チ議會否認ノ思想ノ如キモノハ正條ヲ以テ嚴罰スベキモノダ、苟モ事憲法ノ條章ニ牴觸スルダケノ思想ガ世ノ中ニ行ハレルト云フコトハ、許スベカラザルモノデアルカラ、ソレヲ私ハ是デ取締ツテ貰ヒタイ、取締ルノニ色々アタ方ノ御考ヘカラ言ヘバ、論理的ニハドウダラウカスウダラウカト云フ議論ガ起ルカモ分リマセヌガ、大體此ノ方針デ政府ハ進ンデ戴キタイ、理窟ヲコデ付ケテモ宜イ、私ハ其ノ方針デ進ンデ戴キタイト云フ希望ヲ申上ゲマシテ、此ノ點ニ對スル私ノ質問ハ此ノ程度デ打切りマス、ソレカラモウ一ツ是ハ字句デアリマスガ、分リマセヌカラ承リタイノガ一ツアルノデアリマス、此ノ五十九條ハドウ云フ場合ヲ想像サレタノカ「豫防拘禁ヲ執行スルサザルコト二年ニ及ビタルトキハ決定ヲ爲シタル裁判所ノ檢事又ハ本人ノ現在地ヲ管轄スル地方裁判所ノ檢事ハ事情ニ因リ其ノ執行ヲ免除スルコトヲ得」是ハドウ云フ場合デゴザイマスカ

○太田政府委員 御答ヘ致シマス、豫防拘禁ニ付スベキ旨ノ決定ガアリマシタ際ニ、或ハ本人ガ病氣デアツテ、其ノ執行ヲナスコトガ出來ナカツタト云フヤウナ場合、即チ決定ガアリマシテ最初カラ其ノ執行ガ出來ナカツタ場合、及ビ其ノ豫防拘禁ノ執行中ニ、其ノ執行ヲ停止スベキ事由ガアル爲ニ、執行ノ停止ヲ受ケテ居ル場合デアリマス、最初カラ執行ヲ受ケナイ場合、停止サレタ爲ニ執行ヲ受ケナカツタ場合、其ノ二ツノ場合ヲ含ンデ居ルノデアリマスガ、停止サレタ場合ノ方が多カラウカト存ジマス

○藤田委員 此ノ五十八條ノ行政官廳ト云フノハ刑務所ヲ言ウタノデアリマスガ、檢事局ヲ言ウタノデアリマスガ

○太田政府委員 是ハ豫防拘禁所長ヲ指シマス

○藤田委員 私ハマダ他ニモ條文デ聽キタイコトモアリマスケレドモ、是ハ左程重要ナモノデアリマセヌカラ、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○秋山政府委員 先程領土ノ問題ガゴザイマシテ、ソレニ對シテ私カラ答辯ヲ致シマシタガ、此ノ點ニ付キマシテハ御注意モアリマシタコトデアリマスルカラ、且又重大ナ問題デアリマスカラ、十分檢討致シマシテ御答ヘヲ申上ゲマス

○服部委員長 眞鍋君

○眞鍋(勝)委員 昨日私ハ政治ト云フコトニ付テ形而上ト形而下ト言ヒマスガ、或ハ理想政治ト現實政治ト云フ見地カラト、支那デ謂フ王道、霸道、日本デハ直チニ王道ト云フ譯ニハ行カナイカラ皇道ト云フヤウナコトヲ言フ人モアリマスガ、兎ニ角皇道の政治ト霸道の政治、竝ニ東洋思想、或ハ日本思想ト西洋思想、此ノ見地カラ政治トハ何ゾヤト云フコトニ付テ愚見ヲ述ベテ御高見ヲ伺ツタノデアリマスガ、ソレト

關聯致シマシテ、大政翼賛會ト治安警察法
トノ關係ノコトデ、大政翼賛會ハ其ノ本質

上對立抗爭的ノ政治活動ヲナスモノデナク、又政府ト別個ニ獨自ノ政治的主張ト目的トヲ以テ行動スル筋合ノモノデナイ、故ニ大政翼賛會ハ治安警察法ニ謂フ政事上ノ結社ニ該當セズ、隨テ治安警察法ノ政事上ノ結社ニ關スル規定ノ適用ヲ受ケナイト云フ解釋ヲ政府ハ取ツテ居ラレルノデアリマス、サウスルト大分疑義ガ生ズルノデアツテ、私ノ問ハント欲スルコトハ貴族院ニ於テ織田博士ノ質問ニ對スル内務大臣ノ答辯トシテ現ハレテ居リマス、其ノ答辯ヲ見テドウモ練達堪能ノ士トシテ尊敬スル平沼内務大臣ノ答辯デハアリマスルガ、疑義ヲ持ツテ居リマスノデ御尋ネヲシタイ、ト云フノハ、内務大臣ハサウ云フ解釋ヲシテ居ラレマスガ、是ト結社ト云フヤウナ關係カラ非常ナ關係ヲ持ツテ居ル此ノ治安維持法ト關聯シテ司法省ノ意見ヲ確カメテ置く必要ガアルト私ハ思ツタノデ、平沼内相ト司法當局トガ同ジ意見デアルカト云フコトヲ伺ツタ所ガ、刑事局長ハ同一デアルト言フ、重ネデ更ニ御伺ヒヲシタラ、司法大臣ガ事重大デアルカラ能ク打合セヲシテ其ノ上デ確固タル御答辯相成ルト云フコトニナツテ居ツタノデアリマス、實ハ今日ハ其ノ御答辯ヲ聽イテ、而シテ私ガ質問ヲ續行スルカ否カト云フコトニナツテ居ツタ、一應サウ云フ關係カラシテ、司法當局カラノ御意見ヲ簡單デ宜イカラ御伺ヒヲシタイ

○秋山政府委員　只今ノ御尋ネニ付キマシテハ、實ハ司法大臣ト法制局長官ト打合せヲ致シマシテ、法制局長官ヨリ御答辯ヲサレルト云フコトデアリマスカラ、若シ御要

求ガゴザイマスレバドウゾ其ノヤウニ願ヒ
マス

○眞鍋(勝)委員　了承致シマシタ、實ハ私今
申上デマシタ如ク、法ノ説明ハ立法當時ハ
法制局長官ガ御當リニナルノハ宜シイガ、
之ヲ適用スル時ニナルト司法當局ガ御適用
ニナリ、解釋ヲサレルノダカラ、其ノ法文
ニ據ツテ申シマスカ、其ノ方面ノ御意見
ヲ私ハ聴キタガツタノデアリマス、事頗ル
簡單ノヤウニ存ジマスケレドモ、食違ヒガ
アツテハト申サレマスガ、ソレハ御尤モデ
アリマス、實ハ法制局長官ノ貴族院ノ速記
ヲ私拜讀致シマシタ所ガ、甚ダ要領ヲ得ナ
イ、私頭ガ惡イノカ何度モ讀ンデ見マシタ
ガ、ハツキリシマセヌデシタカラ、法律ノ
専門デアラセラルル司法當局ノ方カラオ聽
キスル方が能ク分ルト思ツタノデアリマス、
併シドウモ法制局長官マデ呼ンデ御聽キヲ
シテ見タ所ガ、貴族院同様ノ御答辯デハ唯
時間ヲ潰スバカリカトモ存ジマスカラ、重
複ノ虞ガアリマスケレドモ、モウ一度申上
デマシテ、其結果或ハ又法制局長官ニ來テ
戴イテ伺ツテモ宜シイ、マダ一二司法省ノ
御當局ニ御尋ネシタイコトモアリマスカラ
關聯上一應申上デテ置イタラト存ジマス
私ハ政治トハ何ゾヤト云フコトハ昨日先
刻述べマシタヤウナ見地カラ述べマシタガ、
今日ノ所謂政治トハ何ゾヤト云フ法の見解
ニ就キマシテ、私共ノ通念ト致シマシテ、
現在政治ニ影響ヲ及ボス目的ヲ以テスルモ
ノヲ政治ト言フ、斯ウ云フコトニ解釋ヲス

ル、即チ現在ノ政治ト云フ以上ハ、過去若シクハ古代ノ政治ニ付テ論評ヲスルヤウナコトハ、歴史或ハ政治學等ノ範圍ニ屬スルノデアツテ、茲ニ問題トハナラスノデアリ

マス、又現在ノ政治ヲ論評ヲスルト云フコトモ、別ニ現在ノ政治ニ影響ヲ及ボス目的

ヲ以テスルノデナクテ、單ニ學理上ノ研究ニ供スルト云フヤウナコトハ是亦政治學デアルトカ或ハ行政學或ハ又國家學等ニ於テ論議サレル所デアリマシテ、學校ノ講義ニ於テモヤハリ論述サレル所デアリマス、即チ現在ノ政治ニ何等カノ影響ヲ及ボス目的ヲ以テスル場合、茲ニ初メテ警察取締リノ目的トナル政治ト云フコトニナルノデアリマス、影響ヲ及ボスト云フコトハ畢竟現在ノ政治ニ何等カノ效果ヲ生ゼシメタイト云フ意義ニ外ナラスノデアリマスガ、其ノ目的ヲ以テスル場合ニ其ノ效果ノ善惡ト云フヤウナコトハ何等區別ノ標準ニナラスノデアリマスガ故ニ、現在ノ政府ノ意見又政策ニ反對ヲシ、尙ホ進ンデ政府ノ倒壞ヲ企テルヤウナ場合ガアツテモ、又ソレト反對ニ政府ノ意見、又ハ其ノ政策ヲ支持シ、或ハ之ヲ擁護シ宣傳シ、其ノ意見政策ヲ實現セシムル爲ニ、必要ナル所ノ材料ヲ調査研究シテ、政府ニ進言スルト云フヤウナ場合デモ、要スルニ現在ノ政治ニ何等カノ影響ヲ及ボス目的ヲ以テスルノデアリマシテ、其ノ目的ガアル以上ハ總テ之ヲ治安警察法ニ謂フ政事ニ關スルモノト見ナケレバナラスト思フ、而シテ其ノ目的ヲ以テスルト云フ以上ハ、其ノ目的ノ達成如何ト云フコトハ問題トハナラスノデ、唯ソレダケノ目的ガアレバ總テ之ヲ政事ニ關スルモノトシテ取扱ヘナケレバナラス、斯ウ私ハ思ツ

タノデアリマシテ、是ハ事極メテ簡單ニ片付ケラレルヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、法制局長官ヲ呼ベト申シマスナラバ、アトデ理事諸君ナリ委員諸君ト御相談シテ

呼ンデモ宜シイノデアリマス
更ニ、モウ一ツ是ト能ク似テ居ルノデアリ

マスガ、當局ニ御尋ネヲ致シタイノデアリマス、ソレハ大政翼賛會ハ近衛總理ヲ總裁トシテ政府ト表裏一體ノ機關デアルト稱シ、國費ヲ支出シテ運營シテ居リマスガ、其ノ據ルベキ確然タル法律規則ハナイト云フコトデアル、凡ソ總テノ團體、或ハ機關ハ憲法、法律、勅令等其ノ他何等カノ規則ノ制約ヲ受ケルノデアリマスガ、サウデナイト無籍ノ團體ト云フコトニナルノデハナイカ、大政翼賛會ハ役所デモナイ、又政事結社デモナイ、國家組織ノ外ニ浮動スル所ノ特異ノ存在デアルト云フコトニナツテ來ハセヌカト思ヒマス、結社トシテモ取締ラスト云フコトニナリマス、甚ダ擱ミニクイトデアリマスガ、司法省ハ之ニ對シテ如何ナル御見解ヲ持ツテ居ラレルデアリマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○秋山政府委員 只今ノ御尋ネニ付キマシテモハ同様法制局長官カラ御聽キ取りヲ願ヒマス

○眞鍋(勝)委員 了承致シマシタ、次ニモウ一ツサツキカラ能ク帝國議會ノコトガ出マシタガ、帝國議會ハ言フマデモナク眞ニ天下御免ノ欽定ノ翼賛會デアリマス、所謂大政翼賛會ハ之ニ對シマシテ私設ノ翼賛會デアルト思フ、議會ヲ正當ノ嫡出子トシタナラバ翼賛會ハ庶子ノヤウナモノデハナイカト思ヒマス、然ルニ今日ノ議會ノ現狀ヨリ見マズレバ、翼賛會ガ議會ニ關與シ、之ヲ指

導シ、左右スルヤウニ思ハレルノデアリマス、即チ恰モ庶子ガ嫡出子ヲ犯セルノ觀ヲ呈シテ居リマス、而シテ又他方ニ於テハ翼贊會ノ構成員中多數ノ共產主義ト申シマス

カ、色々ナ點カラシテ主義者ガアリ、恰モ是等主義者ノ貯水池ト言フト少シ大袈裟ニナリマスガ、溫床ト言ツテモ間違ヒデヤナイト思ハレル位デアリマス、言葉ガ惡ケレバ訂正致シマスガ、サウ云フ觀ガアル、甚シキハ政府ノ意見若シクハ政策ヲ支持シ、宣傳スルノ領域ヲ超脱致シマシテ、大イニ積極的ニ意見政策ヲ高調シテ居ルヤウナ有様デアリマス、是等モヤハリ大政翼賛會ナルガ故ニ治安警察法ノ支配以外ニ立ツモノナリトノ御見解デアラレマスカ、是等ノ點ニ關シマシテモ同様法制局長官カラ御聽キヲシタ方ガ宜シウゴザイマセウカ

○秋山政府委員 ドウゾ左様ニ御願ヒ致シマス

○眞鍋(勝)委員 最後ニモウ一點、私共ハ大政翼賛會ガ治安警察法ノ結社ニ該當スル以上、之ニ同法ノ適用アルコトハ勿論デアルト思ヒマス、尤モ法ノ特別ノ規定ヲ設ケテ、治安警察法ノ全部又ハ一部ヲ大政翼賛會ニ適用シナイト定メルコトハ勿論許サレルコトデアアル、併シ斯克ノ如キ特別ノ規定ガナイ限リハ、同法ハ當然大政翼賛會ニモ適用サレル、仍テ司法省ハ特別ノ此ノ種規定ヲ設クル御意向ハナイノデアリマスカ、此ノ點モ併セテ法制局長官ニ聽ケト申サレルノデアリマセウカ、以上ノ點多數委員モ私同様疑義ヲ有スル場合甚ダ多カラウト思フノデアリマス、一體外國ニ於テハ斯ウ云フヤウニ議員多數ノ意見ト法制局長官ナドトノ意見ガ食違ヒガ生ジタ場合、ドウ云フヤウニ處理サレテ居ルノデアリマスカ、尤モ今日國體明徴トカ東洋思想トカ言ヒマスカラ、ソナナ外國ノ例ヲ取ルノハイケヌト言ハレルカモ知レマセスガ、外國ニモ斯ウ云

フ場合ガアルト思ヒマスガ、司法當局ハ立法上ニ於テ多數ノ參考書ヲ讀破サレテ居ルト思ヒマスカラ、一ツ外國ノ例ヲ御教示願ヒタイト存ズルノデアリマス

○秋山政府委員 サウ云フ場合ニドウ云フ例ガゴザイマスカ、實ハ私マダ研究ガ足りマセヌノデ其ノ點存ジマセヌ

○眞鍋(勝)委員 私ノハ是ダケデアリマス
○服部委員長 ソレデハ此ノ際暫時休憩ヲ致シマス

午後四時二十二分休憩

午後五時十九分開議

○服部委員長 休憩前ニ引續キ開會ヲ致シマス、——是ニテ散會致シマス、明日ハ午

前十一時ニ開會致シマス

午後五時二十分散會

昭和十六年二月十九日印刷

昭和十六年二月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局